

- 管内 オホーツク管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 多くの目で児童を見守る組織づくり
- 関係機関・地元企業と連携した体験等を通した交通安全教室の実施

## 取組の実際

### ねらい

- 学校・家庭・地域が連携し、児童の安全を守る体制を整備する。
- 交通事故の具体的な事例や体験活動を取り入れた交通安全教室の実施を通して、安全な行動の仕方について理解し、自ら安全を守ろうとする意欲を高める。

### 内容

#### 1 多くの目で児童を見守る組織づくり

本校区では、平成18年度より児童の通学路等の安全を確保するため、家庭や地域、関係団体・機関等と連携し、多くの目で児童を見守る「子ども安全ネットワーク」を組織している。

平成25年度はスクールガードや地区連合町内会など17団体から協力をいただいた。

#### 2 関係団体・機関と連携した交通安全教室

警察及び地元企業の輸送会社と連携し、第1学年を対象とした交通安全教室を実施している。

##### (1) 警察署員からの説明

- 自動車ブレーキをかけたときの空走距離について確認した。
- 歩行者としての交通ルールを確認した。

##### (2) 輸送会社の協力による体験活動等

- 大型自動車の運転手の死角体験  
大型自動車の運転席に乗り、車両の前方や斜め後方に立っている人が見えにくいことを確認した。

##### ○ 大型自動車の内輪差の体験

大型自動車による巻き込み事故の様子を見学し、大きな車ほど内輪差が大きく、巻き込まれる可能性が高いことを理解させた。

##### (3) 学級での交流活動

- 交通安全教室終了後、各学級において交通事故から身を守るための行動の仕方について確認した。



大型自動車に乗り、死角を実感



大型自動車の巻き込み事故の見学

#### <児童の声>

- ・車が止まるのにそんなに時間がかかることに驚いた。
- ・トラックの運転席は高く、友達が全然見えなかった。
- ・コーンがタイヤでべちゃんこになって怖かった。

### 成果と課題

- 児童が大型自動車に乗り込み、運転手の死角を実際に体験したり、大型自動車の内輪差による巻き込み事故の様子を見学したりすることにより、交通事故の恐ろしさを知り、自ら安全を守ろうとする意欲を高めることができた。
- 児童の交通安全に対する意識を高めるために、第1学年以外の学年においても、関係機関と連携した交通安全教室を実施する必要がある。